

報告事項:平成24年度事業計画及び収支予算について

I. 平成24年度事業計画

平成24年度につきましても、これまで実施してきた研究開発奨励促進事業、探査技術の普及促進事業、広報活動及び表彰等の事業を継続し、従来にも増して発展させるとともに、会員へのサービスの拡大、並びに一般社会への貢献活動にこれまで以上に力を注いで学会活動の充実を目指します。なお、新たな事業として、平成25年度に創立65周年を迎えるに当たり、委員会を設置し、その準備を開始致します。

また、当学会は、平成23年6月1日付「一般社団法人物理探査学会」に移行し、再出発しましたが、これまで皆様にお諮りしていた通り、内閣府の規定する条件を満たすと判断される時点から、一般社団法人から公益社団法人への移行申請の準備に取り掛かることも考えております。

この様な基本的な考えで、平成24年度も皆様のご協力・ご支援のもと、以下の事業活動を実施して参ります。

1. 学会事業活動

[1] 研究開発奨励促進事業

物理探査学に係る研究開発の奨励促進を図るために以下の事業を実施する。

(1) 研究開発成果に係る発表会開催事業

① 第126回学術講演会

- ・開催日 平成24年5月29日(火)～5月31日(木)
- ・開催場所 早稲田大学(東京)

② 第127回学術講演会

- ・開催日 平成24年11月29日(木)～12月1日(土)
- ・開催場所 とりぎん会館(鳥取)

(2) 会誌発刊事業

平成24年度から計画通り、和文誌「物理探査」はVol.65, No.1～No.4の4号を、豪州物理探査学会(ASEG)・韓国物理探査学会(KSEG)との共同で出版する英文誌「Exploration Geophysics」についても同様に4号(電子版)、計8号の会誌を発行する。

なお、和文誌について、Vol.65, No.1とNo.2は合同号を予定している。

(3) 技術開発、研究開発に係る事業

技術開発、研究開発に係る事業として、研究会活動、コンソーシアム研究及び受託研究があり、今年度は以下を計画している。

① 研究会活動

物理探査に関わる特定の分野について、技術開発を促進するための研究や情報交換等の活動を継続的に実施しており、現在、電気探査・地盤探査・地震防災の3つの研究会があり、本年度も活動を継続する予定である。

② コンソーシアム研究

書式検討委員会が中心となって、特に、河川堤防の安全性を評価するための探査結果を含めた総合的な書式を検討し、その作成を推進する。

③ 受託研究

・河川堤防に係る検討会運営業務

平成 23 年度に受託した河川堤防に係る検討会運営業務を本年度も継続して受託を予定している。受託した場合、平成 23 年度に設置した河川堤防に係る研究委員会が継続して実施する。

・EXACTS

これまで継続して実施してきた、物理探査活動データベースに係るアンケート調査並びにデータ整理作業については、継続することに意義があると判断し、平成 22 年度は学会独自で実施した。平成 23 年度は一旦中断、今年度、平成 23 年、24 年度を合わせて実施することを計画している。なお、本事業に係る業務が発注された場合は、積極的にその受注に努める。

[2] 探査技術の普及促進事業

物理探査技術の普及促進、人材育成のため、セミナー、キャンパスビジット、講習会等を実施する。併せて、関連学協会と講演会等で互いに後援・協賛を行うとともに、技術士継続教育について生涯学習支援システムの共同運営を継続する。

(1) 物理探査セミナー

- ・開催日 平成 24 年 7 月 3 日(火)～5 日(木)
- ・開催場所 (独)産総研臨海副都心センター

(2) ワンデーセミナー

- ・開催日 平成 25 年 1 月頃
- ・開催場所 首都圏
- ・テーマ 未定

(3) キャンパスビジット

- ・開催日 平成 24 年 6 月 25 日(月)
- ・開催場所 北海道大学工学部環境社会工学科
- ・タイトル 「地球のお医者さん~物理探査~の最先端」

(4) 関連学協会との連携・協力

① 国内関連学協会

(公社)日本地球惑星科学連合、(一社)資源・素材学会、(一社)日本リモートセンシング学会、日本地熱学会、(公社)日本地震学会、(一社)日本応用地質学会、(公社)地盤工学会、(公社)計測自動制御学会、石油技術協会と講演会等で相互に協力する。

② 海外関連学会

下記関連国際学会の講演会・年次総会に参加して国際交流を深めると共に、国際レベルの物理探査技術を会誌、HP 等を通じて紹介する。

- ・欧州物理探査学会(EAGE)
- ・米国物理探査学会(SEG)
- ・環境土木物理探査学会(EEGS)
- ・豪州物理探査学会(ASEG)
- ・韓国物理探査学会(KSEG)
- ・中国石油物理探査学会(SPG China)
- ・ベトナム物理探査学会(VGA)

③ SEG 教育プログラムの開催支援

海外の関連学会 SEG が主催し、日本国内で実施する下記のような物理探査技術の普

及・啓蒙活動に対して本年度も参加者の募集、会場の運営等、その支援を行う。

- ・SEG 2012 Distinguished Instructor Short Course (DISC)

- 開催日 平成 24 年 6 月 25 日(月)

- 開催場所 (独)産総研臨海副都心センター

- ・SEG 2012 South & East Asia Honorary Lecture (HL)

- 開催日 平成 24 年 4 月 23 日(月)

- 開催場所 京都大学桂キャンパス C クラスタ人融ホール

(5) 継続教育活動

平成 24 年度も、関係 7 学協会と連携して生涯学習支援システムの共同運営を継続し、会員の技術士継続教育活動をサポートする。

(6) 書籍等の頒布事業

① 物理探査ニュースの発行

本年度も 4 回の発行を予定する。

② 技術資料等の頒布

既存の以下の技術資料等の出版物を継続して頒布する。

- ・物理探査ハンドブック
- ・物理探査適用の手引き(英文)
- ・最新の物理探査適用事例集 冊子・CD
- ・新版物理探査適用の手引き 冊子・CD
- ・会誌「物理探査」 DVD (第 1 巻～第 60 巻)
- ・学術講演会論文集 DVD (第 43 回～第 118 回)
- ・国際シンポジウム論文集 DVD (第 1 回～第 8 回)

③ 英語版「新版物理探査適用の手引き」の出版

平成 22 年度に新たな事業として、英語版「新版物理探査適用の手引き」の出版を計画し、平成 22 年、23 年度に英語への翻訳がほぼ終了している事業であるが、当学会が平成 25 年に創立 65 周年を迎えるに当たり、発刊をその記念事業の中に組み込み、創立 65 周年記念出版物とすることに変更し、本年度はそれに向けての編集作業を開始することを計画している。

[3] 広報活動

物理探査技術を一般社会へ広く普及、啓蒙等を行うため、WEB を通じて広報に係る活動を実施する。併せて、学会 HP を更に見易くかつ親しみやすいものへ更新すると共に、学会 HP の維持管理を行う。

[4] 研究業績等の表彰

平成 24 年度についても以下の表彰等を行う。

(1) 物理探査学会賞

① 物理探査学会論文賞，業績賞

会誌に発表された論文の中から特に優秀なものに物理探査学会論文賞を、また、探査技術の進歩に寄与あるいは著しい探査成果をあげた業績の中から特に優秀なものに物理探査学会業績賞を授与する。

② 物理探査学会奨励賞

若手会員の活動を評価・支援するべく奨励賞を授与する。

- (2) 学術講演会等における優秀発表賞
学術講演会等の活性化と技術の向上を図るため、若手研究者、技術者(35歳以下)に優秀発表賞を授与する。
- (3) 永年在籍表彰
永年(30年、50年)に亘り学会に在籍し、功労のあった正会員および学会の発展に貢献した賛助会員を表彰する。
- (4) 運営功績表彰
学会の運営に特段の功績があった、会員、委員会等を表彰する。
- (5) 名誉会員の推薦

[5] 臨時委員会

平成24年度も以下の臨時委員会活動を継続すると共に、当学会が平成25年度に迎える創立65周年に向けた記念事業準備委員会を設置する。

- (1) 公益法人化検討委員会
公益社団法人への移行に係る検討を継続して行う。
- (2) IT化改革委員会
学会の活性化を図るため、継続して学会業務のIT化を推進する。
- (3) 書式検討委員会
今年度は、河川堤防の安全性を評価するための探査結果を含めた総合的な書式を検討し、その作成を推進する。
- (4) 河川堤防研究委員会
平成23年度に設置した当委員会を継続し、引き続き国交省から受託する河川堤防に係る検討会運営業務を実施する。
- (5) 創立65周年記念事業準備委員会
平成25年に当学会が創立65周年を迎えるに当たり、それに向けた記念事業に係る準備を進める。

2. 学会の経営・運営に関する会議の開催

[1] 通常総会

平成24年5月30日(水)、東京、早稲田大学国際会議場にて開催

[2] 理事会

平成24年度中に4回開催

[3] 運営幹事会

平成24年度中に4回開催

以上